10 月 5 日更新
Ph.D. 取得型 2 次募集提出期限と選考日程を
4 ページに追記しました。

Shida Scholarship Program　2026 年度　募集要項

【本奨学金制度の設立の背景及び目的】

Shida Scholarship Program は、京都大学工学部を卒業後米国にて博士課程を修了、その後も米国にて高分子科学の分野において多大な業績を残した故志田光三氏（1935－2018)、ならびにその遺志を継いだご家族の意向に基づき設立された奨学金制度です。志田氏の母校である京都大学工学部、大学院工学研究科在籍生並びに卒業生が米国で更なる研究を継続することの支援を目的としています。本奨学金制度は、故志田氏のご家族からの寛大な寄付により成り立っています。(故志田光三氏の功績等の詳細は下記のリンクから)
www.kyodai-collaborative.org/wp-content/uploads/2023/10/Dr.-Mitsuzo-Shidas-biography.pdf

【求める人材像】

- 研究内容が明確に決まっており、米国・英国・カナダの大学等研究機関での研究を継続することで、高度な成果を出すことに高い志を有している者。
- 将来的に日本や米国を中心とした国際社会で、当該研究の分野において活躍が期待される者。
- 現地で築いたネットワークを生かしつつ、京都大学及び京大コラボの発展に寄与し、同大学と同組織との関係を保持し続ける意思がある者。

【プログラム内容】

京都大学工学部または大学院工学研究科の在学生又は卒業生を対象に、以下 3 つのタイプの留学を支援する。なお、支給金の使途は生活費・研究費・授業料・渡航費等とする。

1. **Ph.D. 取得型**

   対　　象：2027 年 3 月に学士課程を卒業見込み又は修士課程を修了見込みであり、卒業・修了後、米国・英国・カナダの大学で自身の研究を継続し、博士学位の取得を志望している者。なお、本学を卒業・修了後、米国・英国・カナダの大学又は京都大学で現在研究を続けている者も対象とする。

   支給期間：原則 2 年まで

   支給金額：原則年 US＄30,000.00 を上限とする

   採択人数：3 名程度

2. **研究型（ポスドク研究）**

   対　　象：2027 年 3 月までに博士後期課程を修了予定であり、修了後、ポスドク（博士後研究員）として米国･英国･カナダの大学等研究機関での研究留学を志望している者。なお、本学を卒業・修了後、米国・英国・カナダの大学又は京都大学で現在研究を続けている者も対象とする。

支給期間：原則 2 年まで
支給金額：原則年 US$15,000.00 を上限とする
採択人数：共同研究枠と合わせて 2 名程度

3. **研究型（共同研究）**

対　　象：京都大学博士後期課程在籍中に、米国・英国・カナダの大学等研究機関で共同研究を行うことを志望し、共同研究後には京都大学に戻ることを予定している者。
支給期間：原則 1 年まで
支給金額：原則 US$20,000.00 を上限とする
採択人数：ポスドク研究枠と合わせて 2 名程度

【応募資格要件】

次に掲げる要件を全て満たすこと。

3 タイプ共通

- 日本国籍保持者又は日本国永住権取得者
- 米国・英国・カナダの大学院又は大学院同等の研究機関で研究を行うことを志望していること。
- 学業、研究内容が工学系分野に関連していること。
- 私費留学であること。現在既に国費留学や企業派遣が内定している、或いはこれから応募の予定がある場合は、本奨学金は受給できないものとする。また、本奨学金の受給により、国費留学・企業派遣の制度の条件によっては、国や企業から資金の支給がなされない可能性もあると留意すること。他の民間財団、機関等からの奨学金や支援とは併給可。本奨学金制度の応募時点で他の民間財団、機関等からの奨学金等の受給が確定或いは予定している場合は、当該奨学金等の名称、支給金額、支給期間を申請フォームに記入すること。
- 英語能力の最低基準（TOEFL/IELTS 等の最低スコアラインなど）は設けないものの、英語能力は選考段階において重要な判断基準となる。応募時点で英語の最低水準はないが、選考された奨学生は渡航直前の段階において、渡航直後の生活や学業及び研究に支障をきたさない程度の英語力を身に付けていることが期待される。
- 年齢制限無し
- 奨学生採用内定後、1 年以内に留学を開始予定の者。
- 京大コラボに学業又は研究の成果をまとめた年次レポート及び最終レポートを期日までに提出すること。
- 奨学期間中及び終了後に京大コラボが行う交流会等への参加や京大コラボとのコミュニケーションを通じて、京大コラボ及び京都大学の活動と発展に貢献する意思があること。

Ph.D. 取得型

- 応募時に京都大学工学部又は大学院工学研究科に在籍している者或いは同校を卒業・修了している者。
- 2027 年 3 月までに学士課程又は修士課程を卒業・修了見込みであり、卒業・修了後、米国・

英国・カナダの大学で自身の研究を継続し、博士学位の取得を志望している者。なお、本学を卒業・修了後、米国・英国・カナダの大学又は京都大学で現在研究を続けている者も対象とする。

・ 博士号取得後、学位の取得を証明する書類（コピー可）を提出すること。

研究型（ポスドク研究）

・ 応募時に京都大学大学院工学研究科博士後期課程に在籍している者或いは同校を修了した者。
・ 2027 年 3 月までに、博士後期課程を修了予定であり、修了後、ポスドク（博士後研究員）として米国・英国・カナダの大学等研究機関での研究留学を志望している者。なお、本学を卒業・修了後、米国・英国・カナダの大学又は京都大学で現在研究を続けている者も対象とする。

研究型（共同研究）

・ 応募時に京都大学大学院工学研究科博士後期課程に在籍している者。
・ 京都大学博士後期課程在籍中に、米国・英国・カナダの大学等研究機関で共同研究を行うことを志望し、共同研究後には京都大学に戻ることを予定している者。

【応募方法】

・ 期限までにオンライン申請フォーム、推薦状提出フォーム両方を提出すること。
・ 申請フォームには、以下の必要書類 1 から 6 の書類を PDF 化しアップロードすること。ファイル名を申請フォームに記載の所定の形式にすること。ファイルの容量はそれぞれ 2 MB までが望ましい。申請フォームは入力内容を保存し、後日再開することができる。
・ 推薦状提出フォームには、必要書類 7 の推薦状のアップロードが必要である。申請者本人からの推薦状提出は認めない。申請者が責任を持ち、指導教員等に期限内の作成、推薦状提出フォームからの提出を依頼すること。

必要書類

・ 申請者が提出
  1. カバーレター及び CV（経歴、実績や受賞歴、研究プロジェクトや研究成果等が記載されたもの、英文、書式自由）
  2. 研究内容の詳細・重要性或いは研究論文の概要（最後に将来の目標とキャリア志向に触れること、英文、A4 用紙 2〜3 ページ）
  3. 卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込み証明書（共同研究枠の場合は不要）
  4. 直近の成績証明書
  5. 留学・研究先の合格証明書・レター、受入承諾書（応募時に既に合格・承諾を得ている場合。Ph.D.取得型の応募者は進学先決定後、合格証明書・レター、受入承諾書を速やかに京大コラボに提出するものとする。）
  6. 語学試験（TOEFL/IELTS 等）のスコア票（コピー可、応募締切時の 2 年以内に発行されたもの）

申請フォーム：https://form.jotform.com/Kyodai_Collaborative/2026-shida-scholarship-application

・ 推薦者が提出

7. 推薦状１通（指導教員等からのもの、様式自由。1～２ページ程度。）

推薦状提出フォーム：https://form.jotform.com/Kyodai_Collaborative/2026-shida-scholarship-lor

提出期限（申請フォーム、推薦状提出フォーム共通）

Ph.D. 取得型：2026 年 9 月 30 日（水）23 時 59 分（米国 ET）

Ph.D. 取得型２次募集：2026 年 11 月 30 日（月）23 時 59 分（米国 ET）

研究型（ポスドク研究・共同研究）：2026 年 11 月 30 日（月）23 時 59 分（米国 ET）

申請フォーム、推薦状提出フォームともに、提出完了後に、受付メールが届いたことを確認すること。

【選考・結果通知プロセス】

選考プロセスと日程は下記の通り。

	一次書類審査	二次面接審査	結果通知
Ph.D. 取得型	2026 年 10 月～11 月	～2026 年 11 月下旬	2026 年 11 月末
Ph.D. 取得型２次募集 **研究型（ポスドク研究、共同研究）**	2026 年 12 月～ 2027 年 1 月	～2027 年 1 月下旬	2027 年 1 月末

・ 選考は、京都大学工学部・工学研究科卒業生と京大コラボ職員からなる選考委員会にて行う。

・ 二次面接審査は一次書類審査合格者を対象にオンラインにて実施する。二次審査の具体的なスケジュールについては、一次審査合格者に対して別途 E メールにて連絡する。

・ 二次面接審査合格者を本奨学金制度の内定奨学生として、Ph.D. 取得型、共同研究型、及びポスドク研究型について上記のそれぞれの合格決定月に決定し、結果を通知する。

【奨学金の終了及び停止事由】

終了

各留学タイプの奨学期間の期限が到来した時点で終了とする。但し、その後更に研究を継続し、奨学金受給の希望をする場合は、その旨の申請を行い、京大コラボは、当該奨学生の留学先での学業、研究の成果を確認した上で更に 1 年間の奨学期間延長を認める場合がある。

停止

以下の事由が発生したときは奨学金の支給を停止する場合がある。

・ 研究内容に一定の成果が見られなかったとき

・ 博士号取得の見込みが難しいと判断されたとき

・　京大コラボへの報告書の提出を怠ったとき

休止

留学先の機関において休学又は長期間欠席したときは奨学金の支給を休止する場合がある。

廃止

以下の事由が発生したときは奨学金の支給を廃止する。

・　疾病、怪我等で留学の目的が果たせないと判断されたとき
・　素行又は学業成績が不良となったとき
・　留学先で籍を失うような処分を受けたとき
・　その他、奨学生として相応しくない行為を行ったことが認められたとき

【その他留意すべき点】

・　受入れ大学や研究機関が決まる前に本奨学金に応募する場合は、出願予定の大学/研究室の第１希望から第４希望までを申請フォームに記載すること。一次審査の選考過程においての参考情報として、使用する。
・　申請は一人一件に限る。複数回申請フォームを提出した場合は、全て無効とみなす。
・　提出後の内容の変更、応募書類の差し替えは認めない。
・　いかなる理由があっても上述の申請フォーム、推薦状提出フォーム以外での応募は受理しない。
・　応募期限後は一切受理しない。ネットワークやサーバーの不具合等による遅延・トラブル等には一切責任を負わない。時間に十分余裕をもって準備すること。
・　留学開始後、住所や連絡先等に変更があったとき、大学、研究機関等での在籍状況、所属に変更があったときは京大コラボに速やかに届け出ること。
・　奨学期間終了後、完全に帰国する際は事前に京大コラボに報告すること。奨学期間終了後も留学を継続し、その後日本に完全帰国する際も同様に京大コラボまで報告すること。

【問い合わせ先】

京大コラボ
Shida Scholarship Program 担当
Email contact@Kyodai-collaborative.org

以　上